

	取組項目	今後の取り組みのアイデア
5	<p>ICTなどを活用して情報をしっかりと整理し、行政組織内の情報共有を徹底します。 (行政経営指針 P.8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市のHPで専用の場所をつくり、定期的に更新する。(本松委員) ● グループウェアの活用による庁内Web環境の充実(坂野会長) ● 情報を一元的に管理する担当課(情報管理課)を充実させる。(坂野会長) ● 情報管理課が庁内の情報共有、その管理のあらましをマニュアルにし、職員研修を徹底する。(坂野会長) ● CIOを置き、ICTガバナンスを確立する。(坂野会長) ● 情報過多により、必要な情報が必要なところに届いていない状態を解消するため、 <ul style="list-style-type: none"> ・情報に重要度のランクを付ける。(宗和副会長) ・情報の対象を明確にする(宗和副会長) <p>【取組項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 行政サイドの意向による情報提供だけでなく、市民がどのような情報を欲しているかを把握することが必要(片桐委員) ● 常に簡潔に課題と検討との要点を明確にし、正確さの趣旨を採り間違えないようにとりまとめておく。時系列別に忠実に記録して、それをピンポイントで検索できるようにする。(山本委員)
6	<p>事業の見直しや統廃合、民間委託や協働などを積極的に進めます。また、一定の費用でマンパワーの効率化を図るとともに、再任用職員の能力や知識を活用し、仕事の効率化を図ります。 (行政経営指針 P.10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各事業または施策ごとに担当課を呼び出し、ヒアリングをしながら、PDCAサイクルの中で、協働を意識したエンパワーメント評価を推し進めるための外部評価を導入する。(坂野会長) ● PPPの導入や推進に向けた産学官などによる人材プラットフォームを構築する。(宗和副会長) ● 市の業務について、「誰がすべき業務なのか」を棚卸しする。(宗和副会長) ● BPRを用いて業務量を定量化(見える化)する。(宗和副会長) <p>【取組項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「効率化」はマーケット・ベースのイデオロギーにすぎない。「効率化」ということが適用できない領域に行政の課題があることを認識すべきではないか。(片桐委員) ● 市民である限り、自分の市が良くなっていくことを望まないものはないので、それぞれの立場で「自分が出来ること」、「自分が市を変えていく」、「自分も含む市民のための役立つこと」を自主的な発想で事業主各位が認識してもらえるような働きかけをする。(山本委員)